

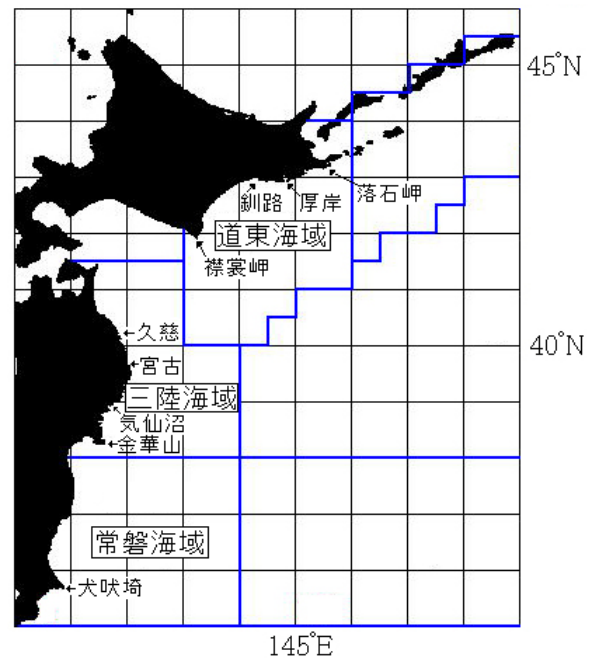
平成24年度 第6回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2012年11月上旬～12月中旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、来遊量は減少し、11月上旬は低位水準となる。11月中旬は断続的となり、終漁となる。
- ・三陸海域では、11月上旬～下旬は中位水準となる。11月下旬から減少する。
- ・常磐海域では、11月上旬に一時的ではあるが来遊がある。11月下旬～12月上旬は中位水準となるが、12月上旬から減少する。



海域の名称

問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成24年度 第6回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2012年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は減少し、11月上旬は低位水準となる。11月中旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月上旬の主漁場は、釧路～襟裳岬沖となる。11月中旬は襟裳岬沖に漁場が残る。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

来遊量は増加し、11月上旬は中位水準となる。11月下旬まで中位水準であるが、11月下旬から来遊量は減少し、12月上旬は低位水準となる。12月中旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月の主漁場は、三陸北部～南部となる。12月上旬になると三陸北部の漁場が消滅し、12月上旬～中旬の主漁場は三陸南部となる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月上旬は、一時的ではあるが来遊がある。11月中旬は低位水準であるが、その後来遊量は増加し、11月下旬は中位水準となる。12月上旬から来遊量は減少し、12月中旬は低位水準となる。

(2) 漁場

11月上旬は、常磐北部に一時的に漁場が形成される。11月中旬になると、漁場は常磐南部まで広がり、11月中旬～12月中旬は、常磐北部～南部に漁場が形成される。

2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位減少	断続的			
	漁 場	釧路～襟裳岬沖	襟裳岬沖			
三陸海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	中位減少	低位減少	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向	一時的	低位増加	中位増加	中位減少	低位減少
	漁 場	北部	北部～南部	北部～南部	北部～南部	北部～南部

3. 漁況の経過概要（10月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬を上回り、前年並の高位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期半ばにかけて徐々に増加したが、期後半にやや減少した。

(2) 漁場

主漁場は、落石～釧路沖と襟裳岬沖であった。

落石南南東～釧路南南西沖の20～60海里付近（11～16℃）では、連日大型船10～25隻程度と小型船多数操業。大型船で最高100トン以上、平均63トン程度漁獲した。

襟裳岬東20海里～南50海里付近（14～19℃）では、連日大型船が5～30隻程度操業し、最高100トン以上、平均50トン程度漁獲した。

(3) 魚体

各漁場ともに体長30～31cmモードの大型魚と26～27cmモードの中型魚主体で、小型魚も多く混じるようになってきた。大型魚の体重は、130～140g台主体。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

三陸海域では、漁場は形成されなかった。なお三陸海域よりも東側の、宮古～大船渡沖、金華山沖では、漁場が形成された。

宮古東110海里～大船渡東120海里付近（17～18℃）では、13日夜以降、連日大型船が数隻～20隻程度操業。数トン～65トン程度、平均16トン程度漁獲した。

金華山東140海里付近（17～18℃）では、16日夜に大型船が6隻程度操業し、10～50トン程度、平均21トン漁獲した。

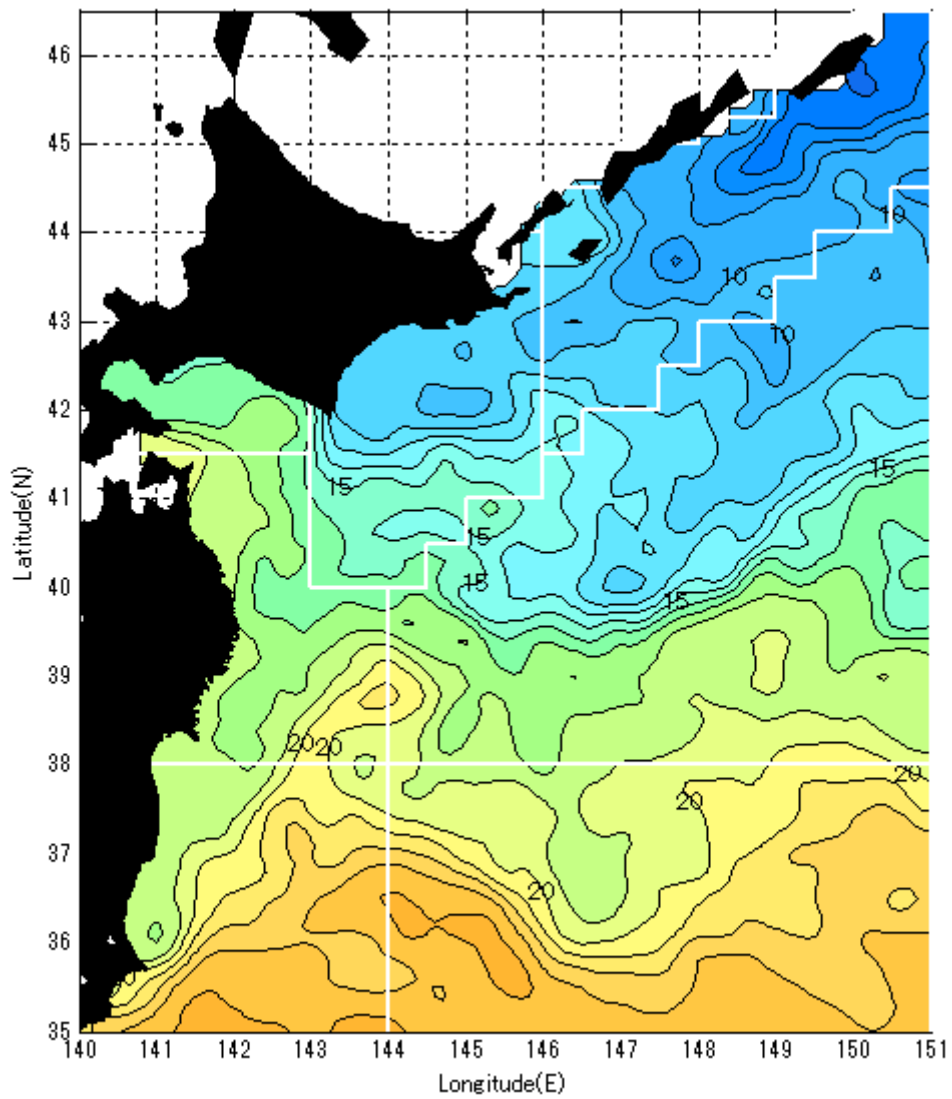
3) 常磐海域

(1) 来遊量

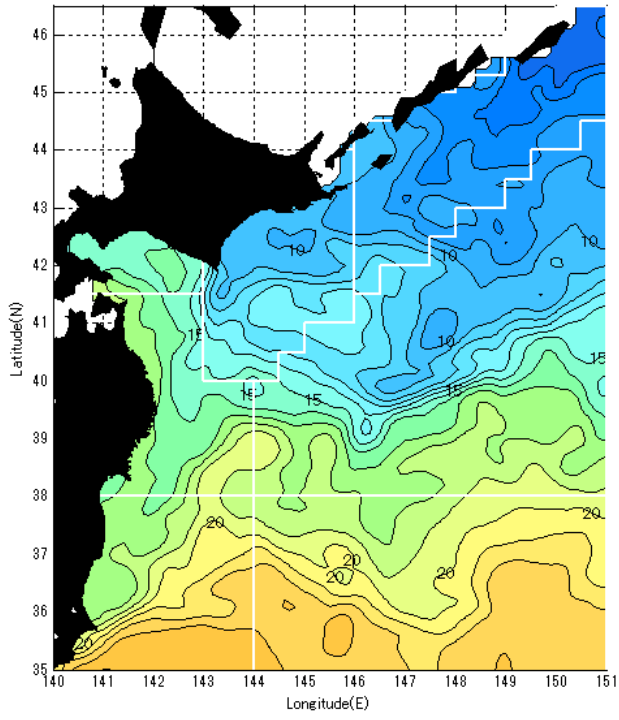
常磐海域では、漁場は形成されなかった。なお常磐海域よりも東側の、金華山東南東140海里付近（18℃）では、18日夜に大型船2隻が操業し、10～40トン漁獲した。

5. 予測水温分布図

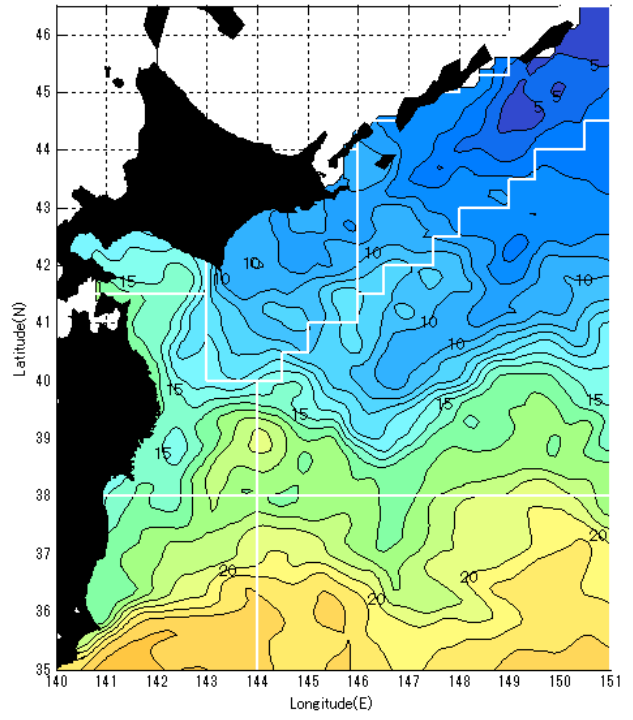
11月上旬予測表面水温分布図



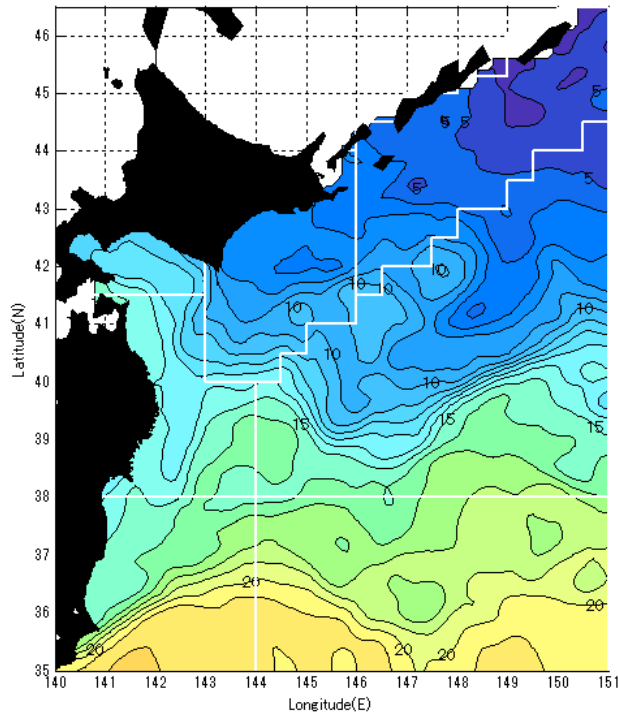
11月中旬予測表面水温分布図



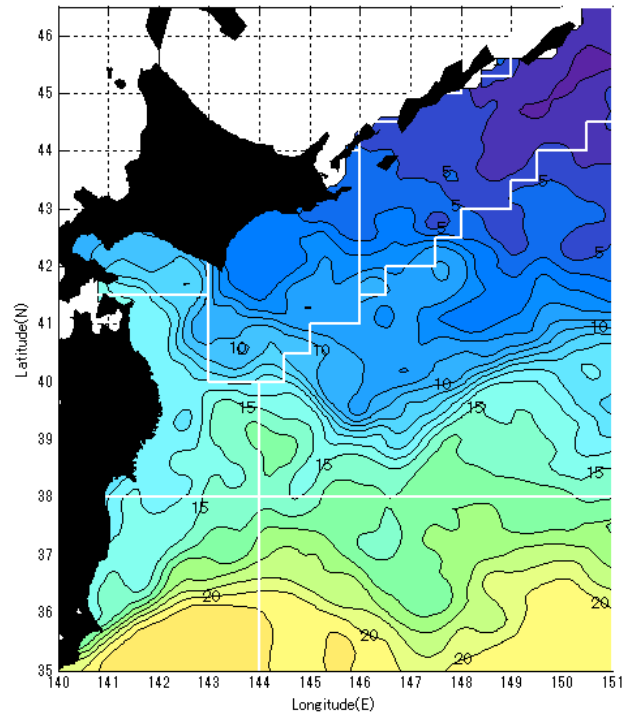
11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--